

## 「とっとり子育て親育ちプログラム」

# ファシリテータ通信



平成30年12月5日 第2号

発行：鳥取県教育委員会事務局

小中学校課

学校・家庭・地域連携推進担当

TEL/0857-26-7521

FAX/0857-26-8170

<http://www.pref.tottori.lg.jp/katei/>

保護者が安心して子育てや家庭教育を行うための支援として、家庭における教育力の向上を促進するねらいで、家庭教育支援員等育成講座を5回開催しました。

御多用中、参加していただいた皆様、ありがとうございました。また、平日開催となったため、「参加したいけれど、参加できなかった」方、申し訳ありませんでした。

5回の講座の振り返りをまとめてみましたので、今後の活動に活かしてください。

### 《 第1回 》（市町村の家庭教育支援充実に向けて）

東部：平成30年5月24日（木） 県民ふれあい会館

中部：平成30年5月30日（水） 中部総合事務所

西部：平成30年5月29日（火） 西部総合事務所

○行政説明 「県の家庭教育支援について」小中学校課

「子育て王国 鳥取県の取組」子育て応援課

○演習「とっとり子育て親育ちプログラムの体験」

○情報交換 「安心できる子育て環境について」



中部：「じゃんけん列車」でアイスブレイク。プログラムは「子どものいいところ見つけ」を体験しました。



西部：プログラムの『子どもの「大切なもの」をみつけよう』を体験しました。

東部：情報交換で「安心できる子育て環境について」子どもの居場所づくりのために、今何ができるか話し合いました。



### 感想より

○保護者とともに地域や家庭での人間関係を見つめなおす機会をつくってみたいと感じた。（行政職員）

○まず、大人が自身を安心してさらけ出せる環境が必要だと思いました。初めて会った人とも語れる場が、不安をもつ大人を救うきっかけになると思います。（行政職員）

○パワーポイントを使っただけのワークが新鮮でした。少人数だったので、アイスブレイクに時間がとれて良かったです。（ファシリテータ）

## 《 第2回 》（家庭教育支援者としてのスキルアップ）

平成30年7月31日（火） 倉吉市上井公民館

○講義 「基本的な生活習慣を身に付けることの大切さ」

体育保健課 指導主事 西尾 郁子 氏

○講演 「かけがえのないものを大切に 親であることを楽しもう」

学校図書館職員・手作り絵本作家 しまだ ようこ 氏



○ワークショップ 「家庭教育支援で届けたいもの」

感想より

○幼児期の生活リズムは一生の宝となると改めて思いました。ファシリテータとして活動する際に、今日のお話を伝えていきたいと思いました。

○育児は育自！子育てはまさに自分育て！本日の感謝を含めて、これから関われる個々の家族にこの思いを語っていききたいと思います。

## 《 第3回 》（先進地視察：家庭教育支援チームの取組について）

平成30年9月11日（火）

○交野市教育委員会（大阪府交野市私部2丁目29番1号）

○能勢町保健福祉センター（大阪府豊能郡能勢町栗栖82-1）

＜視察のまとめ＞

視察に行った交野市と能勢町では、違う目的・手法で訪問型家庭教育支援を行っている。どちらも家庭教育支援チームと連携・協働し、課題に対してその都度話し合い、工夫しながら、さらにより取組にしていくことで、成果を出している。それぞれの自治体の課題に合わせた、家庭教育支援の取組が求められる。



## 《 第4回 》（教育と福祉の連携・協働体制構築に向けて）

平成30年9月26日（水）伯耆しあわせの郷

○講演「対話と信頼に基く子ども家庭支援」

～フィンランドの「ネウボラ」のエッセンスに学ぶ

吉備国際大学 教授 高橋 睦子

○実践発表「三朝町のネウボラの取組」

三朝町健康福祉課 健康対策係 保健師 福田 香織 氏

○ワークショップ「切れ目ない子育て・家庭教育支援について」



感想より

○「相手が自ら語る力をつけていく伴走者」という言葉が心に残りました。フィンランドのネウボラは、すべての母親への助言、個別に必要な内容に沿った支援が着実に実行されていることを知り、行政の力強いバックアップが感じられました。

○信頼関係、対等であることの大切さ、支援の内容を考えるのではなく、本人（利用者）に必要なことは何かを考えることが大切であることに気づきました。今後の支援に活かしていきたいと思えます。

第4回は「西部地区子育て支援関係者研修会」と兼ねて実施しました。講演・実践発表を踏まえ、切れ目のない子育て・家庭教育支援についてグループ討議、ギャラリーウォークに取り組み、情報を共有しました。

## 《 第5回 》（家庭教育支援チームの導入に向けて）

平成30年10月23日（火）伯耆しあわせの郷

○視察報告「大阪府交野市・能勢町の取組に学ぶ」

○実践発表「智頭町の子育て・家庭教育支援の取組～はじめの一步～」

智頭町教育委員会 教育課 副主幹 國岡 秀憲 氏

○講演「つながろう 湯浅！」を合言葉に～切れ目ない子育て支援～

和歌山県湯浅町教育委員会 SSW 上田 さとみ 氏

○情報交換会「子育て・家庭教育支援体制の充実にむけて」



### 感想より

○訪問型家庭教育支援など先進的に実施されている県内、県外の事例を聞くことが出来てとても勉強になりました。

○民生委員さんの意識が“やって何になる”から、実際に訪問して“会った時お互いに気軽に声かけられる”に変わったというのはすごい効果だと思いました。

○地域が家庭の力になれることを実感できる講演でした。傾聴が大切だと感じました。傾聴することで保護者自ら気づく、そこから修正、実践できることがあると思いました。第三者の対応のメリットが大きいということに納得です。



### お知らせ

「とっとり子育て親育ちプログラム」  
ファシリテータフォローアップ研修  
開催予定！！

日時：平成31年2月17日（日）  
午前10時から午後4時まで

場所：中部総合事務所B棟2階  
202会議室

講師：香川大学  
生涯学習教育研究センター長

※ 詳細につきましては、  
1月中旬にお知らせします。



### 【事務局より】

鳥取県教育委員会が推進する「届ける家庭教育支援」の一つである「訪問型家庭教育支援」を進めていく上で、本年度は、福祉部局と教育委員会が連携し、「家庭教育支援員等育成講座」を5回シリーズで開催しました。

5回の講座をとおして、効果的な支援ができる「訪問型家庭教育支援」の必要性について、理解が深まったのではないかと考えております。今後も、切れ目のない子育て・家庭教育支援が実現できるよう

「訪問型家庭教育支援」体制の構築に向けて、県としてもできる限りの支援を行っていききたいと思います。

